



「感謝の会で乾杯の音頭を取るOさんご家族。そしてスタッフたち」

photo 藤田佳久

アルバムの題名は「お父さんの竜宮城」

「地獄から天国に生まれ」と四十二年目の結婚記念日のお祝いと感謝の会で力強く挨拶をされたOさん。ホスピスに入院する前は、痛による様々な症状に苦しんでいた。身体的な苦痛は精神的にも影響し、気持ちも沈んでいた。入院して数日、身体的な症状は緩和されていったが、気持ちはまだ元気になれずにいた。

ある日、「ボランティアによる絵手紙教室があるのと一緒にいきましょう」と担当医から誘われた。車椅子に座りいつしか夢中になって絵手紙に取り組んでいた。「一時間も座っていたのに、全然辛くなかった。自信がついた」。絵手紙を書き終えたその時から、まるで人が変わったかのような生き生きとした表情のOさん。「生まれ変わったみたいだ」と言い、絵手紙に行く前と帰ってきてからはすっかり別人になっていた。

ホスピスに入院してから娘さんが撮りためている写真のアルバムには「お父さんの竜宮城」と題名がつけられている。ホスピスが竜宮城なら、スタッフの私達は乙姫様(?)。もう少し優雅に動き回らなくては・・・。

堀 千代・文
函館おしま病院
ホスピス病棟看護師長
(昨年12月より大分ゆふみ病院勤務)



福岡市出身。順正高等看護専門学校(岡山県)卒業後は岡山大学医学部付属病院消化器外科に勤務。その後九州で最初のホスピスが開設された栄光病院へ移り、同病棟のホスピス病棟で9年間勤務する。平成15年函館おしま病院に赴任。平成16年には道南で最初の認定看護師(緩和ケア)となる。